

2017年9月7日

ソーラー事業競争力強化に向けた構造改革について

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、ソーラー事業の更なる競争力向上を目指して、従来のモジュールのみの販売から、強みの源泉である高出力太陽電池セル単体のデバイス販売も今年度中に開始し、B2B 事業の強化を図っていきます。

当社が生産している太陽電池モジュール HIT®用セルは、アモルファスと単結晶の当社独自のヘテロ接合型太陽電池で、高い変換効率、温度上昇による性能低下が少ない優れた高温特性、両面発電などの特長があります。

今後、セルの販売強化により、グローバルのセル生産体制を最大限活用していきます。一方、モジュール生産体制については見直しを図り、住宅用、産業用モジュールの生産は海外工場、車載用モジュールの生産は二色の浜工場で行います。これにより 2018 年 3 月末に滋賀工場でのモジュール生産を終息します。

滋賀工場でのモジュール生産終息に伴い、同工場の従業員につきましては、パナソニックグループ内での異動・再配置を基本に、従業員の意思を尊重しながら雇用確保を前提に労使協議を進めていきます。

■拠点概要

エネルギーシステム事業部 ソーラーシステムビジネスユニット 滋賀工場

所在地: 滋賀県大津市瀬田1丁目1-1

従業員数: 63 名

生產品目: 太陽電池モジュール

設立: 1950 年 9 月 (三洋電機株式会社の工場として設立)

太陽電池モジュールの生産開始: 2008 年 7 月